

緊急時対応組織の実効性の向上に係る評価指標案における玄海総合訓練時の対応（案）

| 区分 | No. | 指標 | 基準 | | | 評価対象の考え方など |
|----|------------|--|--|--|--------------------------------------|--|
| | | | A | B | C | |
| | 9-2 【P】 | 緊急時対応組織の実効性向上に係る年度計画 ①目標設定 ②達成基準 ③継続的改善 | （効果的な向上） 緊急時対応組織の実効性の向上の観点から、年度計画について、以下の項目を全て満足する。 ①適度な難易度で設定された中期計画の目標に基づき、年度の目標が適切に設定されている。 ②年度の目標に対する具体的な達成基準が具体的、かつ明確に設定されている。 ③継続的改善に係る仕組みが効果的に機能している。 | （限定的な向上） 緊急時対応組織の実効性の向上の観点から、年度計画について、以下の項目が1つ以上ある。 ①容易な難易度で設定された中期計画の目標に基づき、年度の目標が設定されている。 ②年度の目標に対する達成基準の一部が具体的でない、あるいは、不明確である。 ③継続的改善に係る仕組みが十分に機能していない。 | （A、B以外） 緊急時対応組織の実効性の維持が目標となっている等。 | <p>年度計画は、中期計画に基づき、<u>訓練に参加する緊急時対応組織の範囲、目標、実動訓練の内容等が選定されていることについて、例えば以下を確認する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中期計画に基づき、緊急時対応組織の能力の維持及び能力の向上に資する<u>目標が設定されているか（①目標設定に係る確認）。</u> ・上記<u>目標の達成基準が具体的に設定されているか確認する（②達成基準に係る確認）。</u> ・継続的改善に係る仕組みについて、<u>社外の組織からの意見や提言の活用など、改善の余地がないか（③継続的改善に係る確認）。</u> <p>また、毎年度全ての緊急時対応組織の<u>実動訓練が実施できない場合は、中期計画において、各緊急時対応組織の重要性等を考慮して適切に実施頻度が設定されていることを確認する。</u></p> |

| | |
|----|-----------------|
| 対応 | シナリオ情報等を含むため非開示 |
|----|-----------------|

対応

シナリオ情報等を含むため非開示

| 区分 | No. | 指標 | 基準 | | | 評価対象の考え方など |
|----|------------|--------------|---|---|-------------------------------------|---|
| | | | A | B | C | |
| | 9-3 【P】 | 緊急時対応組織の実動訓練 | (フル実動訓練) 中期計画に基づく当該年度計画で実動とした緊急時対応組織の全てが実動する計画である。 | (一部実動訓練) 中期計画に基づく当該年度計画で実動とした緊急時対応組織のうち一部が実動する計画である。 | (A, B以外) 緊急時対応組織の実動訓練を実施しない計画など。 | <p>中期計画に基づき、実動訓練の参加組織あるいは参加者は、実発災時の活動を想定し、広範囲かつ適切に設定されているか確認する。</p> <p>「広範囲かつ適切に」とは、緊急時対応組織について、中期計画及び年度計画で設定した目標のため、必要な組織が網羅されることをいう。</p> <p>「全てが実動する計画である」の確認に当たり、社外組織については、この限りではない。</p> <p>【緊急時対応組織の実動訓練の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①原子力事業所災害対策支援拠点における自社の活動 ②緊急事態応急対策等拠点施設（オフサイトセンター）における自社の活動 ③他の原子力事業所（自社の原子力事業所を含む。）との連携に係る自社の活動 ④原子力緊急事態支援組織との連携に係る自社の活動 ⑤実動省庁（防衛省・自衛隊、警察、消防）との連携に係る自社の活動 ⑥その他、必要な社内外組織との連携に係る自社の活動 |

| | |
|----|-----------------|
| 対応 | シナリオ情報等を含むため非開示 |
|----|-----------------|

| 区分 | No. | 指標 | 基準 | | | 評価対象の考え方など |
|----|------------|---------------------------------|--|--|---|--|
| | | | A | B | C | |
| | 9-4 【P】 | 緊急時対応組織の実効性向上に係るより現実的な実動を伴う訓練設定 | (臨機応変な対応能力の向上) より現実的な実動を伴うシナリオや状況設定となっており、緊急時対応組織の活動の全てがシナリオ非提示型訓練となっている。 | (型通りの対応能力の維持) より現実的な実動を伴うシナリオや状況設定となっており、緊急時対応組織の活動の全て又は一部がシナリオ提示型訓練となっている。 | (A, B以外) 当該年度の目標とは関係ないシナリオが設定されている等。 | <p>実発災時の活動を想定し、より現実的な実動を伴うシナリオや状況が設定されているか確認する。</p> <p>ここで、「現実的なシナリオ」には連携する組織間において、上位組織等の意思決定プロセスも含むこととする。</p> <p>ただし、時間的な制約などにより、現実的な連携シナリオが設定できない場合は、部分的な実動訓練を要素訓練として、実施しても良い。</p> <p>なお、シナリオを予見できる情報（発災前の施設運転状況、地震等の起因事象等といった訓練の前提条件は含まない）が事前演習等も含め全く提示されていない場合をシナリオ非提示とする。</p> |

| | |
|----|-----------------|
| 対応 | シナリオ情報等を含むため非開示 |
|----|-----------------|

案

2022年度 玄海原子力発電所総合防災訓練のうち後方支援拠点 (LSB) 設置・運営訓練 訓練評価チェックシート

| 期待事項 | 達成可否 | 良好事例・気づき事項 |
|---------------------------------------|------|------------|
| <p>シナリオ情報を含むため非公開 (2ページ目以降省略)</p> | | |